

# (仮称)地域交流センター整備に関する市民説明会 開催概要

## ■開催日程等

### (1) 開催日時及び場所

令和6年4月22日(月) 迫公民館 2階軽運動場

令和6年4月24日(水) 米山農村環境改善センター 多目的ホール

令和6年4月26日(金) 登米総合支所 2階201会議室

### (2) 開催次第

- ①市長挨拶
- ②出席者紹介
- ③事業の目的・概要の説明
- ④質疑応答

### (3) 配布資料

(仮称) 地域交流センター整備に関する市民説明会資料

### (4) 来場者

22日(月) 111名、24日(水) 79名、26日(金) 87名 合計 277名

※延べ人数で記載

### (5) 主催者側出席者

熊谷市長、丸山副市長、阿部総務部長、佐藤まちづくり推進部長、

伊藤建設部長(22日・26日)・高橋建設部次長(24日)、

小林教育部長、小野寺政策推進局長、

遠藤財政経営課長、佐々木住宅都市整備課長、

事務局等 総務部政策推進室4名

No.	ご意見・ご質問等	回答等
<b>●施設の内容等について</b>		
1	気軽に作品発表や交流が行えるギャラリースペースとして使用できるよう、可動式パーティションや展示用ワイヤー、照明等を設置してほしい。	貴重なご意見として、施設機能の検討の際の参考とさせていただきます。
2	図書館や公民館を造るということではなく、市役所を新築し、本庁機能を集約してほしい。	移動市長室などを通じて、特に若い世代、子育て世代の皆様から図書館整備に関する要望があり、将来的に必要な施設と考えております。 市役所だけを整備すれば良いということではなく、市民の皆様が集うことで交流が生まれ、にぎわいが創出される施設整備を目指すものでありますので、ご理解をお願いいたします。
3	議会機能が「1,820㎡」とあるが現状と比較してどうなのか。15年後は人口が3分の2に減るので、議員数も26人から10～15人程度にするべきだと思う。	議会機能に係る施設面積については、今後、適正規模の検討を進めてまいります。
4	事業の参考とした施設はあるのか。成功事例として、この事業を行うことで何市のような明るい未来が待っているという情報があれば、教えてほしい。	生活の温もりと人々のにぎわいにあふれた「まちの“中土間（ナカドマ）”」というコンセプトのもと、行政機能、市民交流機能、体育館、市民プラザ等の複合施設を整備した新潟県長岡市の「アオーレ長岡」を参考にしております。 なお、事業規模等については、本市の身の丈に合ったものとして検討を重ねてまいります。
5	今こそ計画を進めないと、将来的には建設が不可能になる。デジタル化の進展で、紙媒体での活字離れが進んでいるが、紙媒体を用いた教育は重要。そのためにも図書館は必要な施設。しっかりと計画を進めてほしい。	貴重なご意見として、今後の事業推進の参考とさせていただきます。
6	図書館は、学校と同じく教育基本法に定められている教育機関の一つであるが、建設を反対する意見が多いのは、市の図書館事業が、学校ほど重要視されず、役割や機能を十分に果たせてこなかったからだと思う。市としても喫緊の課題として、取り組んでほしい。	図書館は、これまでも整備に向けた検討を重ねており、平成27年度に図書館構想を策定しましたが、具体化が進んでいない状況でありました。 昨年10月に図書館構想を見直す過程で、市民アンケート調査を実施したところ、図書館整備に賛同される意見が多かったことを踏まえ、多機能型の複合施設整備の中で具体化を検討しているものであります。
7	図書館については、郊外の広々とした場所に単独で建ててもらいたい。また、その際は地元の木材をふんだんに使用してもらいたい。	図書館整備に関する市民アンケート調査を実施したところ、建設場所としては、市民が集まりやすく利便性が高いところや、買い物、通勤・通学時など、日常生活で利用しやすい場所に設置を望む意見が多くありました。そういったご意見も踏まえ、今回の複合施設整備の計画に盛り込み検討を進めているところであります。 施設の整備方法や木材利用につきましても、今後、検討を進めてまいります。

No.	ご意見・ご質問等	回答等
8	登米市出身の漫画家である大友克洋さんのミュージアムなどを図書館の中に作ってほしい。	本市からは大友克洋氏や故石ノ森章太郎氏など、日本を代表する漫画家が輩出されておりますので、図書館に求められる機能として、そういった方々の魅力の再発見や積極的な情報発信ができるよう、機能検討と併せて検討してまいります。
9	庁舎の建て替えは仕方が無いが、図書館は必要無いと思う。その分の建設費を削減して、母子家庭や生活困難者の支援を行った方が良い。	図書館整備につきましては、これまで、時間をかけて意見交換等を行ってきた経緯があります。また、移動市長室などの際に、高校生や子育て世代の皆様からも、しっかりとした図書館が欲しい旨、強く要望されてきたところでもあります。近隣自治体等の状況を踏まえても、市内に図書館（文化）が必要と考えております。
10	図書館の蔵書数を増やし、公民館や学校に配本巡回することが重要であり、移動図書館も不可欠と考える。また、直営で運営することで雇用を確保することも重要。図書館の必要性について意見が分かれているが、教育機関としての役割であり、国民の権利と考える。 ①ケインズ政策に基づき地域に役所や図書館を造り、地方公務員の増員を通じて雇用を創出する、②施設を建設する場合は全て直営で運営し、PFI、指定管理制度など新自由主義政策を採用しないことを提案する。	様々なご提案をいただきましたが、今後、検討を進める上で参考とさせていただきます。なお、現在、図書館に求められる機能や運用面に関する検討組織を立ち上げ、幅広い視点から検討を進めているところであります。
<b>●既存施設について</b>		
11	南方庁舎と中田庁舎の集約後の活用方法はどのように考えているのか。	本庁機能の集約を想定しているものであり、身近な行政サービスの窓口としての支所機能はそれぞれの庁舎にこれまで同様に維持するものであります。 なお、機能の集約化により生じる空きスペースについては、サウンディング調査を実施するなど、民間活用を含め、施設の有効活用を検討してまいります。
12	今使っていない施設の再利用及び有効利用についても、検討されたい。	既存の公共施設の有効活用につきましては、大きな課題と捉えていますので、民間活用も含め、様々な角度から検討を行ってまいります。
<b>●建設場所について</b>		
13	中江地区は大雨が降ると、庁舎周辺の道路等を含め、冠水被害が生じていると思うが、それらの対策というのはどのように考えているか。	県において長沼川の河川改修事業を行っており、来年完成予定となっているほか、市でも迫町大東地区の雨水排水路整備事業を来年度完成予定で進めております。 さらに、中江地区の側溝堆積土砂の撤去事業を現在進めており、これらの取組により低減が図れるものと考えております。

No.	ご意見・ご質問等	回答等
14	過去の経験からも災害はいつ起こるか分からない。建築するのであれば、将来を見越した場所の選定をしっかりと検討してほしい。	災害が起きにくい場所となりますと、山間部の高台や郊外という選択肢になるかと思いますが、将来を見越して、本市のまちづくりがどうあるべきか、総合的に勘案し、現在の計画を進めているものであります。
15	迫庁舎の老朽化も承知しているが、過去に沼だったところに建てているから杭も壊れると思う。その場所にまた建てるのが理解できない。必要なものは造らないといけないということは理解するが、それよりも他にやるべきことがあるのではないかと。若い人たちの意見を含め、住民投票などで市民全体の意見を聞いてほしい。	今回の事業は、まちづくりのシンボルとなる施設整備により、にぎわいを創り、活性化につなげたいという考えのもとで取組を進めているものであります。仮に、現在の場所から移転した場合、市街地の空洞化に拍車がかかることが想定されるほか、新たな用地確保等に時間を要し、財源として見込む合併特例債の発行期限に間に合わなくなる可能性などもあります。将来負担等も考慮し取組を進めているところでありますので、ご理解をお願いいたします。若い世代のご意見につきましては、今後、市民アンケートやワークショップ等を行いながら、伺ってまいります。
16	建設場所の再検討をお願いしたい。中江エリアは冠水被害が多く、この場所を選んだ理由が分からない。郊外に適した場所もあるので、再検討をお願いする。合併特例債を使うとはいえ、余計な費用がかからない場所が望ましい。選定理由を確認したい。また、施設は誰もが行きたくなる場所とされているが、大雨時には行けなくなる。防災拠点として考えられているが、アクセスが困難な場合はどうするのか。	中江地区は県の河川改修事業や市の雨水排水路整備事業が進行中であり、数年内に完了する予定でありますし、道路側溝の浚渫事業も進んでおり、冠水被害の軽減が期待されております。今回の事業は、単に施設整備を図るだけでなく、中心市街地のにぎわいを創出する拠点として整備するものであります。仮に、この施設を他の場所に移した場合、市街地の空洞化が進む恐れがあります。また、立地適正化計画の都市機能誘導区域内に施設を整備することで、国から有利な補助金を受けられます。合併特例債の期限内に整備を完了するためにも、現地での整備が必要と考えているものでありますので、ご理解をお願いいたします。
17	迫中江中央公園は、土地区画整理事業で整備しており、勝手に潰すことはできないと思うが、将来的にどのようにするのか。	迫中江中央公園については、都市公園施設となっておりますので、建物のレイアウトに関わらず現在と同等以上の面積を確保してまいります。
18	集約すると、これまで以上に駐車場のスペースが必要となるが、どのように考えているのか。	駐車場スペースにつきましては、建物の配置計画により変動するところもありますが、施設の利用者分はしっかりと確保できるよう検討してまいります。なお、職員分につきましては、エリア外への設置を含め、検討することとしております。
<b>●財政運営について</b>		
19	市の借金はどのくらいあるのか。今後、さらに整備に係る費用として47億円も市民は返済していかないといけなくなる。まずは財政を盤石にし、登米市に若者が残り、将来人口を減らさないようにするための施策を優先すべきではないか。	令和6年度末の地方債残高は、一般会計で約460億円、企業会計で約400億円となり、減少傾向にあります。施設整備のために借金を増やすこととなりますが、何もしなければ維持管理や施設の更新などでさらに大きな負担が生じることが想定されます。このことから、より有利な財源を活用することが重要となります。合併特例債を活用することができる今がラストチャンスであり、今後も議会と協議を行いながら、取組を進めてまいりますのでご理解をお願いいたします。

No.	ご意見・ご質問等	回答等
20	<p>建設前提の説明会ではないか。莫大な借金がある中で大きな事業を行うなら、時間をかけて議論すべきだ。本来、市民説明会は白紙の状態の説明すべきだ。各町域を回って、市民と財源を含めて相談するのが筋ではないか。資料には立派なことが書かれているが、実現は難しいと思う。令和6年度の出生数は300人を切り、施設を整備しても、にぎわいは期待できない。市がまず何をすべきか、次に何をすべきか、順番を決めて実現するのが行政のあるべき姿ではないか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の事業推進の参考とさせていただきます。</p>
21	<p>2050年までに消滅可能性がある自治体が県内で19市町村あると報じられ、その中に登米市が入っている。 人口減少の現状を受け止め、策を打った上での建設であれば賛成する。</p>	<p>人口減少対策につながる施策については、議会にもご理解いただきながら取り組んでいるところであります。社会減、自然減が重なり、どこの自治体においても人口減少が進んでおり、そうした中でいかに人口減少を食い止めていくのかが重要であると考えております。本市では、生活支援、特に子育て支援については、他自治体より充実した施策に取り組んでいるところでありますので、ご理解をお願いいたします。</p>
22	<p>市長は、市役所庁舎を建て替えなければ、最終的には市民の負担が増えると判断し、英断を下した。確かに建設には費用がかかるが、今取り組むことで将来的な負担が圧縮できるなら、それに越したことはない。この説明をしっかりと行えば、市民の理解も得られるのではないか。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の事業推進の参考とさせていただきます。</p>
23	<p>市役所庁舎等のインフラ整備というものはあってしかるべきと考えるので基本的には賛成であるが、税収がミニマムになった場合、今の事業計画のまま進んで、市の財政運営は担保できるのか。 維持管理に係るランニングコストも見越した計画となっているのか不安を感じる。</p>	<p>本市では、持続可能な財政運営を進めるため、財政健全化基本指針を平成29年度に策定しており、計画的に財政計画を作成し、収支バランスを取った中で、健全性を担保してまいりたいと考えております。 今後、課税客体が減っていく可能性があります。歳入確保の取組を行政改革の中でしっかりと進めてまいります。</p>
24	<p>集約型とエリア内分散型についての説明があったが、一つの建物にした方が安上がりだと思う。試算は行っているのか。</p>	<p>今回の資料では、現時点で想定される規模についてお示ししているところであります。 今後、施設規模や共有化を図ることができる部分等については、その事業費を含め具体的な検討を進めていくこととしており、現時点で具体的な試算は行っておりません。</p>

No.	ご意見・ご質問等	回答等
25	<p>将来に最も必要なのは労働人口の確保ではないか。建物を造ることは簡単だが、貯金を切り崩して当初予算に組み込むこと自体、市政として問題があると感じる。これは市民感覚からの意見だ。健全化判断比率の将来負担比率が県内の市でワーストであることから、こんな財政状況で建設できるのか疑問が湧く。</p>	<p>長期財政計画を毎年更新しながら、健全な財政運営を目指しております。将来負担比率の件ではありますが、令和4年度決算で見ますと66.4%となっており、早期健全化基準が示す350%以上には達していない状況ではありますが、県内自治体ではワーストの値となっております。引き続き、健全な財政運営に努めてまいります。</p>
26	<p>登米市は人口1人当たりの公共施設延べ床面積が全国平均の約1.7倍。これは、交付税や補助金を利用して、施設を繰り返し作ってきた結果ではないか。登米市は財政再建団体に最も近い状況ではないかと、心配している。</p>	<p>本市は9町の対等合併により、各町域に同様の施設があるため施設面積が大きくなっております。平成28年度に公共施設等総合管理計画を策定し、平成27年度を起点に令和17年度までに約25%の削減を目指しており、現在、計画の見直しを行いつつ、面積削減に向けた取組を推進しているところであります。</p>
27	<p>事業費の概要が出ているが、大阪万博などを見ていると、当初想定していた金額よりもずいぶん増えている。 今回の事業についてもあり得る話だと思うが、その辺を見込んだ数字となっているのか。</p>	<p>今回の事業費については、事業費の高騰分を含め、現在把握し得る範囲で算出しておりますが、今後の資材費や労務費等の高騰分については、把握できない部分もありますので、施設規模を抑えるなど、総合的に検討しながら取組を進めてまいります。</p>
<p>● <b>その他のご意見について</b></p>		
28	<p>数年前に町域ごとに立地適正化計画の説明会が開催されたが、参加は少なかった。その後1か所であった説明会にも集まる人は少なかった。何か所でやっても来る人は来る、来ない人は来ない。自分事として捉えていないから来ないのではないか。 市長からの説明が不足との指摘があったが、移動市長室で市長と交流する機会があり、賛成したいと思っていた。 図書館は必要だが、単に1か所に集約するだけでなく、拠点プラスアルファで様々なサービスを提供することが望ましい。 特に若い世代に関心を持ってもらえるよう、市の情報発信のあり方を検討してほしい。ハコモノだけ作ってどうするのかとの意見もあったが、ハコモノをどのように活用したいのか、市民が意見すべき。</p>	<p>貴重なご意見として、今後の事業推進の参考とさせていただきます。</p>
29	<p>なぜ市民説明会が3会場のみで開催となっているのか。説明不足ではないか。 今後、地域で検討会を開きたいと考えているが、その際、本日配布いただいた資料は市から提供いただけるのか。</p>	<p>今回の市民説明会につきましては、市内を東、西、南地区と3か所のエリアに分けて実施をしたところでありますが、今次の説明会だけではなく、市民ワークショップやアンケート調査、各種団体から意見聴取等も行い、市民の皆様のご意見を伺ってまいります。 なお、資料については、本日お渡しした資料の活用をお願いいたします。</p>

No.	ご意見・ご質問等	回答等
30	<p>基本的な考え方には賛同だが、ここに図書館を建てたとしても、移動手段がしっかりしていないと、小さな子どもや高齢者が利用するのは難しい。どこに集約しても、移動手段がないと施設が埋没してしまうのではないか。</p>	<p>少子高齢化が進展する中で、現在市内にある公共交通を使っただけのようなものにはしなければならないと考えております。今年度から来年度にかけて、地域公共交通計画の見直しを進めながら、可能な限り公共施設間の往来が出来るような計画を立てることで、多くの市民の皆様に施設を利用いただける公共交通網の構築を目指して、取組を進めてまいります。</p>
31	<p>移動手段について、運転手が不足している中で各拠点以外の人を含めたバスでの輸送は可能なのか。</p>	<p>地域拠点を結ぶ公共交通として、市民バスの運行をしっかりと行うとともに、町域内の住民バス、デマンド型乗合タクシーなどとの連携を図り、市民の皆様の移動手段の確保に努めてまいります。</p>
32	<p>市長が選挙公約で庁舎は作らないとしていた中で、5年前から整備しなければならないと分かっていたのであれば、なぜ説明がこのタイミングなのか。</p>	<p>最初の市長選挙では庁舎建設に反対を訴え、当選後も施設の長寿命化を図るための調査等を行ってまいりました。しかし、想定以上に劣化が進行し、特に旧庁舎の損傷が深刻で、修繕に多額の経費が必要と判明したところであります。その後、平成28年度の熊本地震などで合併特例債の発行期限が延長され、国の補助金の活用も可能となり、施設の在り方を改めて検討した結果、多機能型複合施設の整備を進めることにしたものでありますので、ご理解をお願いいたします。</p>
33	<p>高齢化の時代を迎えるにあたって、優先すべき課題は市民病院の整備ではないのか。</p>	<p>文化を大切にし、地域交流、中心市街地の活性化を図るため、複合施設は必要であると考えております。 登米市民病院の建て替えにつきましては、本館及び南館が竣工から30～50年経過しており、喫緊の課題であると捉え、現在、施設整備に向けた検討を進めているところであります。市民病院の整備に向けた検討もしっかりと進めてまいります。</p>
34	<p>賛否両論だと思うが、新庁舎を建てないといって当選した市長の公約違反である。 市民説明会を開いたから終わりということではなく、住民投票で決定してほしい。</p>	<p>1期目の任期においては、長寿命化を図ることで庁舎の新築は避けたいという思いで取り組んでまいりましたが、検討の結果、長寿命化は困難であるとの結論に至ったものであります。このため、無投票となった2期目の所信表明で、中心市街地の活性化について申し上げてきたところでありますので、ご理解をお願いいたします。</p>